



第1067号
2008年2月17日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先
▽ぶどうのいえ▽東京教区神学生(大斎節第1主日)▽浦安伝道所・浦安宣教▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため

◇堅信受領

2月10日 渋谷聖公会聖ミカエル教会で
▽荒井敬史▽荒井美早(聖ミカエル)

◆教役者レクイエム

2月20日(水) 10時半
主教座聖堂
説教 吉野秀幸司祭
▽司祭皆川晃雄▽司祭岡崎清蔵▽主教材尾昇一▽司祭栗飯原信▽司祭遠藤義光▽司祭高

松孝治▽執事戸所芳一▽執事栗原素行▽執事金井 登▽伝道師多治見十郎▽伝道師深尾猪曾子▽主教小笠原重二▽司祭山口千尋

◆とこしえの平安

1月16日 浄法寺信雄(70) 聖ガブリエル
1月16日 金塚美知子(85)

1月18日 須田 春枝(94) 聖マルチン
1月21日 鈴木 亨(88) 神田キリスト
1月25日 佐藤猪一郎(84) 聖テモテ
1月25日 福山 敦子(53) 聖アンデレ
三光

今週・来週の予定
2月17日～3月1日

- 17(日) 大斎節第2主日
- 18(月) 財政委員会
- 19(火) 正義と平和協議会 運営委員会
礼拝音楽委員会
小平墓地委員会
- 20(水) 教役者逝去者記念 聖餐式(主教座)
正義と平和協議会 懇談会
- 21(木) 主教座聖堂活動委員会
広報・HP小委員会
- 22(金) 多摩G牧師協議会 (八王子)
- 23(土) 城南G大斎黙想会 (神学院)
- 24(日) 大斎節第3主日
- 28(木) 信仰と生活委員会
- 29(金) 事務所主事会議
- 3月 1(土) 聖公会神学院卒業式

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

昨年のクリスマス前の訪問のことです。ある介護老人ホームに入居しておられるMさんをお訪ねしました。そのホームは正午から面会出来るので行くと、昼食が始まるころでした。同室の人たちは皆、食堂へ行かれて、Mさんだけがベットの用意された昼食を前にしておられました。「食べさせて！」と言われませんが、肉親でも、職員でもない私が介助して差し上げることが出来ることでもありません。

《恵みに生かされて》

神の摂理のプレゼント

司祭 佐々木庸

そこへきびきびとした介護士の方が入って来られました。私のカラーを見て、「聖公会の司祭さんですね？」と尋ねられました。驚きましたが、前回お訪ねした時に、枕頭に古今聖歌〇〇〇番とか書き出してあったことをすぐ思い出しました。食事の介助をされながら話しを伺うと聖公会のあ

る教区出身の信者Hさんでした。Hさんも利用者の方が聖公会の信徒と分かってからは、聖歌を歌って励まして下さっていたのでした。しかもHさんが洗礼・堅信に導かれた司祭の子どもさんが、聖公会の東京教区で司祭として働いておられることを伝えると大変喜んで下さいました。ご自分は施設勤務となり、日曜日も出勤があり教会に行きにくくなっています。聖餐を奉持していることを告げると、陪餐を希望され拝領されました。

司祭としてご病人にお持ちすることは当然の務めですが、利用者と介護する人と司祭がともに聖公会で「きよしこのよる」の1節を共に歌い、み子のご降誕を共に祝うことが出来ることは神さまからの何よりの恵み、心暖まるクリスマスプレゼントと感謝しました。(池袋聖公会牧師)

公 示

日本聖公会東京教区第106(定期)教区会を下記のように招集します。

教主 降生 2008年2月8日
日本聖公会東京教区教区会
議長 主教 ペテロ 植田仁太郎

記

日時 2008年3月29日(土)
午前9時から午後5時まで
場所 開会 聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。
司祭 ハンナ 石坂みゑ子
執事 マツテヤ 大森明彦

以上

◆大斎プログラム3

▽聖マルコ教会大斎研修 2月24日(日) 13時、「社会とかわる働きに学ぶ」、講師・楡原民佳(聖パウロ教会信徒)。

▽浅草聖ヨハネ教会大斎研修 読書会 毎主日(2月10日) 昼食後13時頃、「テキストⅡ」『マラナ・タ〜楽しい』日本聖公会祈禱書『入門』(森紀旦主教著)。

▽小金井聖公会「み言葉をわ

かち合う会」 3月4日までの毎火曜日10時。

▽八王子復活教会・聖パトリック教会・聖マルコ教会 十字架の道行き 毎金曜日19時(八王子のみ16時)、それぞれで。

▽JOCs(キリスト教海外医療協力会)チャリティー映画

会 韓国画「おばあちゃんの家」 3月1日(土) 14時半・18時の2回、亀戸文化センター内カメリアホールで。千円。都会から来た孫と祖母の心暖まる話。当東京教区のほかカトリック東京大司教区、日本基督教団東京教区などの後援。照会 Ⅲ03(3208)2416。会場で使用済み切手の収集も。

▽教区HP更新情報 ①本紙のPDF版(毎週) ②本紙に載せている催事案内(ポスター版・随時) ③植田教区主教の一般読者向けメッセージ(月末・月初め)などに加えて、④トピックス欄を新設。同欄ではいまのところ集会報告(写真入り)の2件をアップ 聖職按手式、カトリックとの合同祈禱会。

【学びと働きから】67

07年度信仰と生活委員会

一昨年から活動を始めた青年支援部会の呼びかけで、07年度「大人企画」が箱根で実施されました。参加者25人で、黙想と祈り、聖書の学び、ユーモアあふれる遊びなど盛りだくさんのプログラムでした。次回の開催希望が多くありました。また、日韓聖公会セミナー、生野研修、辺野古平和学習、長崎平和プログラム、国際聖公会青年ネットワークなどへの参加者を募り、その後報告会を行うなどしました。当委員会のもう一つの柱である研修は、4人の方々を講師として計13回の学びの時間をもちました。「グリーン・ワーク」と

いうカウンセリングの学びを初めてしました。各講演会の参加者は、平均して50人程でした。また、研修の中でも、大韓聖公会ソウル教区訪問「ナヌムの旅」が10月中旬4泊5日で行われました。ソウル教区が実施する聖書通信講座や家庭集会などを中心に研修を深めました。ソウル教区のプログラムが素晴らしかったのは言うまでもありませんが、それ以上に、積極的な信仰のあり方が、宣教を盛んならしめていると思わざるを得ませんでした。信仰と社会正義が結びついて活動しているのです。韓国だからできるのです。日本は難しいという消極的な信仰では、宣教が実を結ぶはずがありません。信仰が生活(生き方)

と結び合うところに神のみ業が現れます。

08年度は、新しい方向の学びも含めて講演会を継続していきます。また、青年支援部会が中心になり、交わりと平和の学びを各教会の青年たちに呼びかけますので、送り出してくださいますようお願いいたします。

信仰と生活委員会委員長

司祭 井口 諭

【教区会〈常置委員選挙管理委員〉公募】 春季教区会(第2

面で公示)で行なわれる同選挙管理委員ボランティア(牧師推薦のある受聖餐者7人)を募集している。詳細・照会は教区事務所小川教務主事宛。受付締め切りは3月14日(金)。